

取組名称「行政ポイント付きキャッシュレスシステム たったもカード」概要図（実装部門）



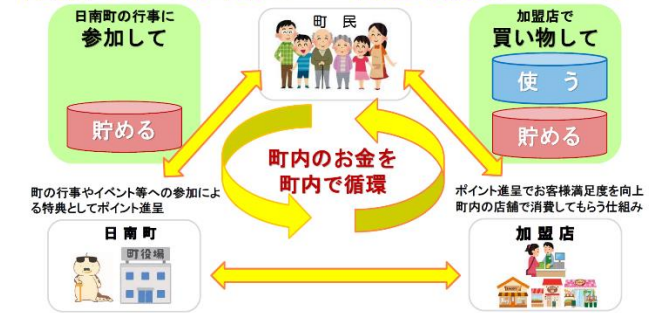
目的① 町内経済循環

- 町内での消費意欲を刺激
- 町内での経済循環
- 町外からのお金の流入

- 「町民」・「事業者」・「日南町」  
3者で支え合う、持続可能なまちづくり



目指すまちの将来像は...「持続可能」なまちづくり



目的② 町民参画によるまちづくり

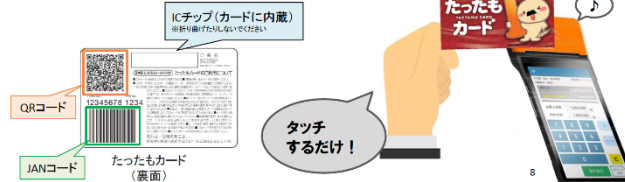
住民検診等の行政サービス等に参加するとポイントを進呈する仕組みにより、町の施策を推進するとともに、まちづくりへの町民の積極的参画を促す。

- 日南町独自のキャッシュレス決済を選択する動機付けになる
- 日南町内での行事、ボランティアなど自主的な参加を促進する

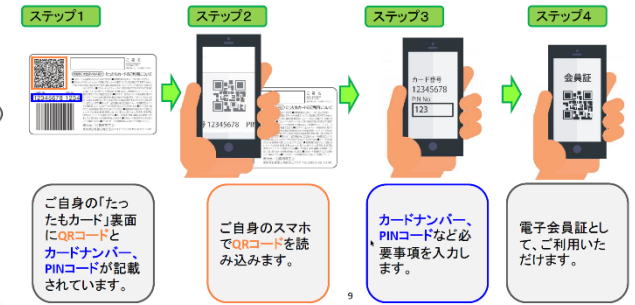


『たったもカード』はこんなに簡単！

『たったもカード』にはQRコード、JANコード、ICチップが搭載されています。お買い物時に『たったもカード』をお店の端末機にかざすだけでお買い物が完了する便利なカードです。



『たったもカード』はスマホでもご利用いただけます！



## 取組調書（実装部門）

地方公共団体名	日南町		
取組名称	行政ポイント付きキャッシュレスシステム（たったもカード）の導入		
連携自治体、企業、団体等	日本カード株式会社		
デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類） <sup>（注）</sup>	①	（左記が①の場合の分野） その他
	<p><b>【デジタルを活用した取組の全体概要】</b></p> <p>○電子マネー機能がついたカードを全町民に配布しました。また、町内の主要約 50 店舗に決済端末を設置・導入しています。</p> <p>○町内でのお買い物の際に、現金での支払いを省略しつつカードや電子会員証で「お買物ポイント」「チャージポイント」「行政ポイント」といった各種ポイントを貯めることができます。</p> <p><b>【実施に至る経緯・動機】</b></p> <p>○下段記載の課題を解決するため。いかにして町内で経済活動を循環させていくかが重要と考え、導入を決定しました。</p> <p><b>【解決する課題の具体的内容】</b></p> <p>○日南町では米子市などの商業圏まで 1 時間程度で移動が可能であり、地域外へのお金の流出が課題となっています。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響もあり、観光産業など地域外からの消費の拡大が困難であることが想定されています。</p>		
デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）	<p><b>【令和 4 年 4 月中旬時点】</b></p> <p>○カード保有者数 4,236 人（町内住民全員に配布）</p> <p>○カード利用者数 2,587 人（61%）</p> <p>○利用額 45,122,896 円</p> <p>○利用者の 1 人あたり平均利用額 17,442 円</p> <p>店舗側からも「支払い時の硬貨を出す時間やお釣りを出す時間の省略化により、決済がスピーディーになった」「閉店後の売上確認など、現金管理の効率化になった」と声を頂いています。</p>		

# 日南町

本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	<p>○単なるキャッシュレス機能だけではなく、「行政ポイント」の付与が肝となっています。これは生涯教育講座や住民検診など、町の推進する活動に参画していただいた場合にポイントを付与しています。</p> <p>○「たったもカード」というネーミングは公募により決定しました。「たったも」とは町の方言で「まいど」「いつも」という意味で、親しい間柄での挨拶で良く使われています。町民はもとより、たくさんの方に「たったも！」と、親しみを持っていただきたいという思いから決定しました。</p>
今後の展望	<p>○町内商店における経済循環・消費喚起を図ることはもちろんのこと、利便性向上や、行政ポイント付与事業の推進による町民の行政への参画、地域活性化を目指します。</p> <p>○現在、カード配布は住民票を持っている方だけが対象となっていますが、今年度は町外在住者へのカード発行も実施します。</p> <p>○マイナンバーカードとの連携が出来ないか、検討を進めます。</p>

注： 以下の①または②のいずれかを選択

- ① デジタルの活用により、次の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や地域の産業振興につながっているもの。  
(・医療 ・教育 ・子育て ・物流 ・交通 ・農林水産業 ・中小企業 ・観光 ・防災)
- ② 高齢者、障がい者などデジタルに不慣れな人々がデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる環境づくりを既に進めるなど、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる、「誰一人取り残されない」社会の実現に寄与しているもの。